

個別の移行支援計画

愛知教育大学附属特別支援学校

ふりがな 氏 名	ふとく はなこ 附特 花子		性 別	生年月日
			女	平成23年6月1日
住 所	〒444-0072 岡崎市六供町八貫15			
保護者	附養 太郎	住 所	〒444-0072	
		電話番号	電話(0564) 21 - 7300	
出身校	愛知教育大学附属特別支援学校		主障害	自閉症
卒業年度	平成40年度卒業			
療育手帳・愛護手帳	A			
	有効期限		31年 11月	
身体障害者手帳	無			
障害福祉サービス受給者証	有		障害支援区分	
	有効期限		31年 3月 31日	
地域生活支援事業に関する受給者証	有		名称	地域生活支援事業受給者証
	有効期限		31年 3月 31日	
障害者医療費受給者証	無		有効期限	
重度知的障害者判定	有			
	取得日		平成31年5月30日	

保護者から見た将来の生活についての希望	(高1)・障害福祉サービス事業所への就職を希望するが、高等部3年生卒業時には、流大薬への進学を希望。 ・徒歩で通えるか、送迎可の施設がよいと考えている。 (高2)・基本的な生活知識や学力を身につけさせたい。 第1希望…流大薬 通勤…最終的にはバスで通えるように (高3)・生活を楽しみながら、元気に働けるように願っている。		
	職場での必要と思われる支援内容	(高1)・1日のスケジュールや作業内容を視覚的にわかりやすく示すこと。 ・形式的に作業が終わると報告することはするが、相手を意識して伝えていないところがあるので、相手を見て報告し次の指示を受けるという流れを作ることができるとよい。 (高2)・言葉遣い 流での実習ではスタッフの方が教官となっても敬語で話せるようにしたい。 ・手先を使う作業では補助具等必要。 ・わからないことや困ったことがあったときに、自分から周りに助けを求めようとする必要がある。 (高3)・指示を繰り返して確認することが多く、一度の指示で行動に移るようになるとうい。 ・掃除や手洗いなどが時間をかけて行うことが多く、終わりの時間を意識させる声かけや表示方法を工夫していくようにしたい。 ・作業の効率を上げるように、ときには自分で工夫して作業できるようにする必要がある。	
就労において必要と思われる関係者・諸機関による具体的支援			
家庭生活	進路先の生活	生活の場(グループホームなど)	地域生活
担当者:附養 太郎 連絡先:22 - 1234 内 容:家庭生活全般	担当者:〇〇作業所 連絡先:77-8877 内 容:作業・生活訓練	担当者: 連絡先: 内 容:	担当者:〇〇ホーム 連絡先:11-1221 内 容:日中一時支援, デイケア
医療・健康	障害者職業センター 生活・就労支援ワーカー	行政・職安等	出身学校
担当者:〇〇病院 精神科 連絡先:11-2345 内 容:問診	担当者:〇〇 〇〇 ジョブコーチ 連絡先:44-5566 内 容:事業所内での作業の定着支援。	担当者:〇〇 〇〇 岡崎市役所社会福祉課 連絡先:33-1234 内 容:	担当者:愛知教育大学附属 養護学校高等部 進路指導主事 連絡先:0564-21-7374 内 容:
その他	パニックになる前には、脈絡のない独り言が増える。パニックになったときには一人になれる場所で、好きなものの写真を見て落ち着かせる。		
作成日・記録者	平成28年3月16日	平成29年3月16日	平成30年2月10日

個別の移行支援計画(実習状況)

愛知教育大学附属特別支援学校

氏名		附特 花子			作成者			
年度		平成41年度	学年	高等部3年				
職場体験	期間	平成29年 6月27日(月)～7月8日(金)			出勤状況	出勤	10日	
	実習先	〇〇スーパー				欠勤	0日(理由)	
	作業内容	・商品の陳列, 野菜の袋詰め				遅刻	0日	
						早退	0日	
	支援の成果や課題について	学校	<ul style="list-style-type: none"> ・作業のスピードアップ。 ・職場の皆さんとの会話が弾むようになるとよい。 					
		保護者	<ul style="list-style-type: none"> ・慣れた場所とは言え, 実習ともなると少し緊張している様子であった。 					
		実習先	<ul style="list-style-type: none"> ・着替え, 準備の時間が長く, もう少しスピードアップできるとよいと感じた。 ・学校, 家庭でも, 時計を意識した声かけをしていけるとよい。 ・全体を通して, どんなことにも嫌な顔をせず, 頑張って取り組む姿が見られ, 素晴らしいと思った。 					
	総合評価		A					
	実習等における実習状況	期間	平成29年 6月27日(月)～7月8日(金)			出勤状況	出勤	10日
		実習先	〇〇作業所				欠勤	0日(理由)
作業内容		ペットボトルのキャップの色分けやシールはがし, キャップを洗浄する。			遅刻		0日	
					早退		0日	
支援の成果や課題について		学校	<ul style="list-style-type: none"> ・作業は, ペットボトルキャップのものに限定であるが, 間違いなくできていた。 ・たまに独り言が出たり, 作業中のキャップを手をいじって作業が止まることがあった。声をかけるとそういう姿はしばらく見せず, 作業に集中することができた。 					
		保護者	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭では, 仕事も9:00～14:00と短かったし, 座った作業だったので, 疲れが少なかった。家では, 「仕事は楽しい。」と言っていた。 ・バスを乗り換えて通所できるようにトレーニングしていきたい。 					
		実習先	<ul style="list-style-type: none"> ・キャップシールはがしと, キャップ洗浄の作業を行った。作業は問題なくまじめに取り組んでいた。他にも, 軍手の組み付け作業を行ったが, 細かい作業だったので, 難しいようだった。 ・飽きっぽいところが見受けられるので, 持続力があればよいと思う。 					
総合評価		A						
期間					出勤状況	出勤	日	
実習先						欠勤	日(理由)	
作業内容				遅刻		日		
				早退		日		
支援の成果や課題について	学校							
	保護者							
	実習先							
総合評価								